

NPO法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会主催
薬剤師さんのためのオープンセミナー

患者さんの服薬アドヒアランス向上のために
「慢性疾患
セルフマネジメントプログラム」
の取り組み

開催日時：2011年10月16日（日）
14:00～15:00（開場13:30）

参加費無料

開催場所：ハーティ21（尼崎市南塚口町4-4-8）2階視聴覚室

慢性疾患セルフマネジメントプログラムは、完治が難しい病気（慢性疾患）をもつ患者さんの自己管理を支援する教育プログラムです。1980年代から米国スタンフォード大学医学部患者教育研究センターで開発が始められ、日本には2005年に導入されました。現在までに全国14都道府県で1,000名を超える方が参加され、兵庫県内では県立塚口病院で開催しています。

慢性疾患になると、「自己管理」が治療の中心になります。

特に多くの患者さんにとって最も重要なことは、服薬を適切に実行することです。このプログラムでは、進行役も患者さんが務め、患者さんのやる気を引き出しながら服薬の意義を再考してもらい、服薬忘れを防ぐ方法を話し合います。また、薬剤師や医師から適切な助言をもらうために、よいコミュニケーションをとる方法も学びます。

本オープンセミナーでは、実際にプログラムを運営している患者本人が、プログラムの内容と、自身の服薬管理についてお話します。どうしたら患者さんの服薬アドヒアランスを向上させることができるか悩んでいる方や、実際に患者さんの話を聞いてみたいと思っっている方、ぜひ参加してみませんか？

お申込み・お問合せ先

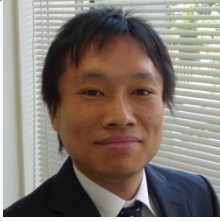
NPO法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会

住所：東京都港区高輪3-22-12 全社連研修センターオフィス2階

電話：03-5449-2317 FAX：03-5449-2362 Eメール：info@j-cdsm.org

お申込みには、①お名前、②ご所属（ご勤務先）、③ご連絡先電話番号、④Eメールアドレスをお知らせください。

このセミナーは、財団法人木口ひょうご地域振興財団の助成を受けて開催します。

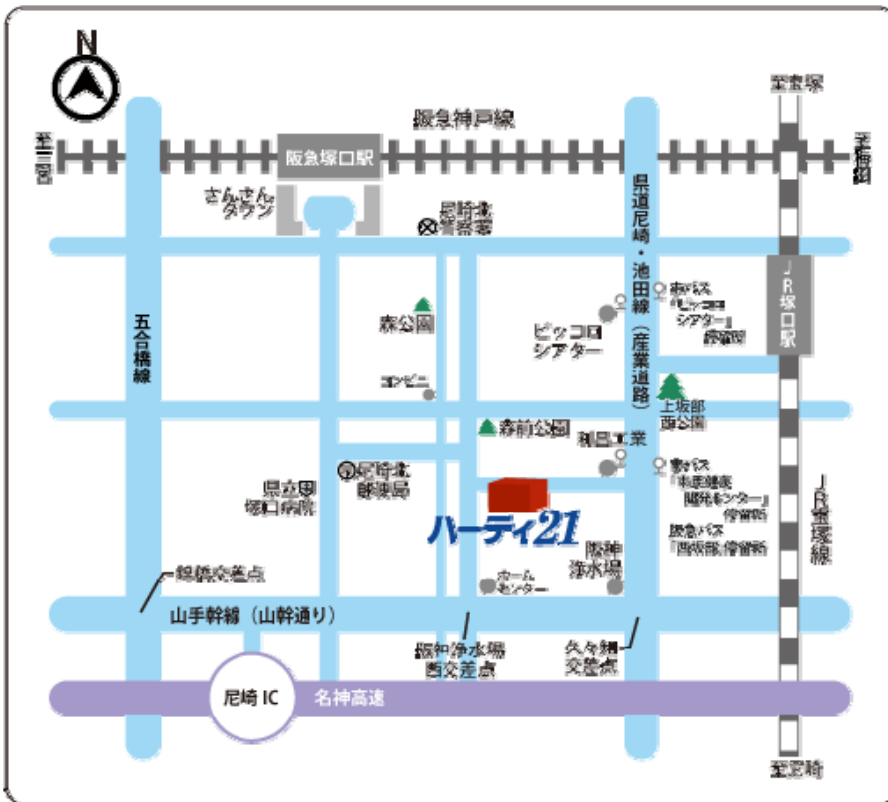


講師：武田飛呂城（たけだひろき）

NPO法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 事務局長代行
 1978年、血友病Aをもって生まれる。5歳までに非加熱血液製剤によりHIV、C型肝炎等に感染(薬害HIV事件)。抗HIV薬の副作用などから、当初は服薬に前向きではなかったが、2005年に「慢性疾患セルフマネジメントプログラム(CDSMP)」に出会い、病気と向き合い、納得して治療に参加することの大切さを学ぶ。2007年には米国スタンフォード大学医学部患者教育研究センター主催のCDSMPマスタートレーナー研修を修了。自身も病気の自己管理に努めながら、全国で患者さんやご家族を対象としたCDSMPワークショップを展開している。

<会場地図>

ハーティ21（市民健康開発センター）
 尼崎市南塚口町4-4-8



交通アクセス

- * 市バス
市民健康開発センターより徒歩4分
ピッコロシアターより徒歩10分
- * 阪急バス
西坂部より徒歩4分
- * 阪急神戸線
塚口駅南東へ徒歩13分
- * JR宝塚線
塚口駅南西へ徒歩13分

* お車でお越しの場合 【駐車場】

地下駐車場38台収容可能/
 高さ制限2.1mまで
 初めの30分間は無料。30分以上2時間は300円、以降30分ごとに100円ずつ追加されます。

NPO法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会

プログラムに関する詳細や患者さんの体験談を協会ホームページでご紹介しています。
<http://www.j-cdsm.org>

NHK Eテレ「ハートをつなごう」（2011年6月30日放映）
 日本薬学会 会誌「ファルマシア」（2009年10月号）
 「臨牀透析」（2009年10月 Vol25, No11）
 などで紹介されました。